

# 公明党

## 橋口幸生

### ●自転車対策

**問** 平成27年6月1日の道路交通法改正に基づき、自転車対策を具体的にどのように進めていくのか。

**答** 近年、自転車と人、自転車と自転車の事故が増加傾向にある。自転車利用者へのアンケート調査では、車道走行の原則、傘差し運転禁止、イヤホンやヘッドホン使用運転禁止、一時停止標識での停止などについて守られていないとの回答が多かった。このことから、特に自転車利用者の歩行者への安全対策の周知が必要であり、市としてもさまざまな機会を通して交通ルールやマナーの啓発を図り、自転車利用者のルール周知とマナー向上に向けて取り組んでいく。

### ●企画立案能力

**問** 地域振興の第一歩には、地域の特性や資源を見詰め直し、新たな地域振興の企画立案能力が欠かせない。若手職員を選抜し、最低5年間程度は人事異動をさせずに地域外も含めて多様な教育訓練を行うべきと思うが、市の考えは。

**答** 若手職員の企画立案能力が組織で花開くよう後押しする組織文化のマネジメントがまだ不足している。幹部職員がその部分を自覚した上で、特に若い職員の企画立案能力が組織の中で尊重されるよう努力していく。

### ●若者雇用

**問** 市内の中小企業は、大企業のように企業情報をPRすることとは困難であり、若者も市内の優良な中小企業の情報入手する

ことは難しい。たとえ就職しても事前の情報不足により企業へのイメージと現実のギャップが大きく、早期離職につながるおそれがある。市の対策と考える。

**答** かしわ地域若者サポートステーションでは、市内の企業と連携した企業情報の提供や個別相談、キャリア開発プログラムに加え、25年度からはボランティアや地域イベントへの参加など実践的なプログラムを強化した結果、26年度では新規登録者201名のうち132名が進路決定するなど成果を上げている。今後は、これまでのプログラムの充実に加え、昨年度に引き続き国の緊急雇用創出基金事業を活用した作業トレーニングや企業における職業訓練、就労先の開拓を行い、就労までの支援とともにミスマッチによる離職防止への取り組みを実施していく。

## 林 伸司

### ●教育行政について

**問** 学校の耐震改修は、今年度で100%になる見込みである。このことを視野に入れてエアコン設置の事業計画を検討すべきではないか。

**答** 学校のエアコン設置は学習環境における重要な要素であると認識している。ただ、設置や維持には多額の費用を要することから学校長寿命化と合わせて検討する。

### ●新若柴町会での学区変更について

**問** 新若柴町会での学区変更について、同町会の学区は柏四小である。しかし、通学路が狭く危険であるため、松葉一小へ通う児童が135人にまでふえて



手賀沼花火大会のインターネット募金

おり、これは、柏四小に通う児童をはるかに超えている。松葉一小は受け入れる余裕もありません。地域の要望である学区変更を行うべきと考えるがどうか。

**答** 御指摘のように若柴・十余二地域では、学校の新設により指定校までの通学距離が周辺校に比べて長くなっている。このことから、通学区域の変更と安全対策をできるだけ早い時期に実現したい。

**問** 小中学生のスマートフォン使用について、特に夜間の利用が生活習慣の乱れになるのではないかと指摘から、幾つかの教育委員会では、夜間利用を控えてはどうかとの提案がある。私も度を越さない利用が望ましいと考える。本市教育委員会も同様に対応してはどうか。

**答** 教育委員会としては、ルールとかキャッチフレーズなどを子どもたちや保護者と一緒に考えていきたい。PTAの連絡協議会とか小中学校の児童会、生徒会への働きかけをしていく。

### ●企画行政について

**問** インターネットで事業プロジェクトを公開して広く資金を

調達する手法を進めるべきである。昨年の11月議会でも質問し、そのときの御答弁では、まちづくりの市民参加の観点から財源確保の手法として検討を進めるとのことだった。その後の進捗はどうか。

**答** 林議員から御提案をいただき、検討した結果、この仕組みを利用して夏の風物詩である手賀沼花火大会の開催に当たりインターネットによる募金の受け付けを実施することになった。募金サイト内ではメッセージの掲載や寄附者には各種景品の贈呈などを行う。

## 田中 晋

### ●交通政策

**問** 現在策定を進めている第五次総合計画の中に、自治体主導のミニバスの導入を位置づけるべきと考えるが、市の考えは。

**答** 第五次総合計画の中には、バス交通の機能強化、バス路線の充実を重点事業に位置づけようとして検討している。

**問** 地元の企業バスや、商業施設のバスとの連携について現状と今後の見通しは。

**答** 過去に市内3校の自動車教習所の御協力により、教習生を送迎するバスの空席を活用した高齢者おでかけ支援事業を実施した経緯があるが、利用率が低いことなど課題が多く、23年度に終了している。今後の予定については、現在のところない。

### ●コンビニの多角的活用

**問** 本市のコンビニを活用した行政サービスの拡大についての市の考えは。

**答** 市民生活に密着しているコンビニは、利便性の高い行政サービス提供の場として認識しており、既に一部公共料金の収

納を行っている。また、最近では市内のコンビニが提供している商品配達サービスと連携し、孤立世帯、高齢者世帯の見守り体制を強化したところである。行政窓口におけるより多くの手続についてもコンビニで行えるよう情報の安全性やコスト等に十分配慮しながら検討を進めている。

**問** コンビニへのAED設置事業については、8月1日の運用開始を目指しており、これにあわせて救命講習を実施することだが、具体的な取り組みと今後の展開は。

**答** コンビニ146店舗にAEDを設置する柏あんしんハートステーション事業を開始する。そのため27年度から定期的な救命講習を実施し、市職員の技術習得と防災救命意識の高揚に努め、今年度は、60名の救命講習を3回実施する予定である。



市内のコンビニに設置するAED

### ●空き家対策

**問** 空き家対策特別措置法が5月26日完全施行された。空き家対策室等、各部各課を横断的にまとめる部署が必要と考えるが、市の考えは。

**答** 各部署を横断的にまとめる部署として、空き家対策室等の設置の検討も必要と考える。組織再編も視野に入れ、今後の対応策について検討していく。

# 無所属

## 内田博紀

### ●市長の政治姿勢について

**問** 2011年に原発の爆発があつて以降、脱原発の世論が巻き起こっているが、脱原発を求める民意から何が学べるのか。

**答** 平成23年3月に発生した東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故を受けて以降、再生可能エネルギーへの転換を求める国民的、市民的議論が高まったものと認識している。今後は、国土全体のエネルギー政策を所管する国において、再生可能エネルギーの活用も踏まえた政策が示されるものと期待している。なお、市としては24年度よりPPS（特定規模電気事業者）からの電力を一部の公共施設で購入しているところであり、この取り組みに加えて太陽光発電を主軸に再生可能エネルギーの普及促進を図るなど、まずは省エネや創エネが着実に進むよう努めていく。

## 宮田清子

### ●北部開発は抜本的な見直しを

**問** 17年前につくった「北部地域総合整備事業推進方針」どおり定住人口はふえていない。現在方針の見直しをしているが、事業の基本となる計画人口については、除外した大室地区の人口を除いただけだ。本市の人口のピークが5年後なのに、17年前に計画した人口でよいのか。

**答** 北部地域の人口はまた伸びていくだろうと捉えている。

**問** 北部ばかりに多額な税金をかけ、南部は負担ばかり強いられるという声が聞かれる。また、柏たなか駅周辺を整備しているURは、採算がとれないから開発事業から撤退すると宣言している。今後急速に高齢化が進む本市では、多額の福祉予算が必要になるので、時代おくれの開発は根本的に見直すべきでは。

**答** 今は北部の大きな計画を進めて開発すべき時期と認識している。

## 会議録暫定版を公開中！

質疑並びに一般質問の詳細は、  
会議録暫定版で!!

校正中の原稿を「暫定版」としてホームページでいち早く公開しています。議会だよりの詳細は会議録暫定版をごらんください。なお、最終的にでき上がる会議録と一部異なる場合がありますので御了承ください。

過去の本会議や委員会の会議録もホームページでごらんいただけます。

柏市議会ホームページ

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/assembly/>